

できたかな? あんぜんがくにん

ケンタとニャンタのこうつうあんぜん



企画意図

交通事故の発生率を年齢層別に見てみると、3歳から6歳までの幼児の事故が最も多い比率を占めています。その原因のほとんどが、「飛び出し」と「車の直前直後の横断」によるものです。

こうした幼児の交通事故を防ぐために、子供たちが関心をもって観られる、分かり易いアニメーションで描き、キャラクターにはケンタ(4歳・男の子)と愛猫のニャンタや猫の仲間たちを設定。視聴する子供たちが愛らしいケンタとニャンタたちの一挙一動にハラハラしながら、自然と交通ルールを学べる工夫が施された内容となっています。

お父さんとお母さんにリモコンで動くカーロボットを買ってもらったケンタ(4歳)。ペットのニャンタと一緒に、大喜びで公園へ駆け出す。ところが……

■危ない！交差点での「飛び出し」

走ってきたケンタとニャンタはT字路の交差点で、そのまま飛び出してしまう——と、突然、クラクションを鳴らして迫ってくるクルマ！「あっ！危ない！」危機一髪で事故からまぬがれるケンタとニャンタ。

そこへ女性警察官が駆けて来る。ケンタとニャンタは交差点での急な飛び出しが、とても危ないことを女警さんに教えてもらう。

■渡る時は右、左を見て、もう一度右

公園へ着いたケンタとニャンタ。年上の友達、タケシとキヨシたちとカーロボットで遊ぶのに夢中だ。そして、カーロボットを追って道路へ——道路の手前で立ち止まり、チラッと周りを見ただけで渡ろうとするケンタ。

そこへクルマがクラクションを鳴らして迫った来た。「あっ！危ない！」

またもや事故にあいそうになってしまったケンタとニャンタ。年上のタケシとキヨシに正しい道路の渡り方を教わる。

「道路を渡る時は一度止まって右左を見て、もう一度右を見て渡るんだよ。」

■車の視点で見てみると……

夜の公園。ここではニャンタを交えた猫たちがボンコツ車の前で話し合っている。ボス猫がニャンタに交通事故の恐さについて話している——と、突然、ボンコツ車が目を覚まし、しゃべり出す。「僕も言っておきたいけど、車のそばで遊ばないで……」

そこでボンコツ車は、車が急に停まれないことや、車の直前直後の横断が危険なことを教えていく。

■横断歩道の渡り方

翌日、お母さんに道路を安全に渡るためには横断歩道を渡ることを教わったケンタ。ニャンタと一緒に家の近くの横断歩道や歩道橋を確かめに行く。

「横断歩道があった。渡ってみよう。」

ところが突然、車が迫ってくる。

「横断歩道を渡ろうとしているのに、なんで……？」

ここでは、ケンタとニャンタが、女警さんに横断歩道でも信号のある所では、信号のルールを守らなければならないと教えてもらう。

交通ルールについて色々勉強したケンタとニャンタは、道路で遊んでいる子猫たちにも自信をもって注意できるようになった。

「みんな、道路で遊んじゃダメだよ。道路では、どんな所でも交通安全に気をつけないとなあ。」

制作スタッフ

声の出演	小田としみつ 岡本わたる はせ ようこ にしや えみ おのせやすよ 池上 恵
制 作	高木裕己 藤井正和
脚本・監督	高木裕己
絵コンテ	細谷秋夫
作 画	正延宏三
美 術	宮川一男
テーマソング	作 詞 高木裕己 作曲・音楽 加藤由美子
本 編 集	阿部伸太郎
効 果	スワラプロダクション
MAスタジオ	スリーエス・スタジオ

●お問い合わせ、お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101